

大麦管理特報

～第5号～

令和6年5月20日

黒東地域農業技術者協議会

今年は平年より出穂が早く、好天が続いていることから、収穫時期は早まると予想されます。

刈取り前に「雑草種子や異物の除去」及び「被害粒の発生確認」を行い、適期刈取に努めましょう。また、コンバインの清掃を徹底し、籾などの混入防止に努めてください。

1. 雑草種子や異物の混入防止

- ・カラスノエンドウの種子は、収穫前に必ず抜き取りましょう。
- ・金属やプラスチック片などの混入防止のため、ほ場周りを事前に確認しましょう。



2. 被害粒の混入防止

- ・赤かび粒などの被害粒の混入限度は、「0.0%」です。

被害粒が収穫物に混入しないよう、事前にほ場を確認してください。

- ・被害粒がある場合は、地区担当の営農指導員に連絡いただくとともに、被害粒が健全粒に混ざらないよう収穫は別扱いしてください。



赤かび粒

3. 大麦の収穫時期の目安

- ・大麦の収穫時期は、出穂期の早いところで**5月25日頃**からと予想されます。
- ・刈取りは、穂軸や茎、葉が完全に黄化し、子実水分が30%以下となった頃から開始してください。

